ボーリング柱状図

調　査　名　荻之尾川隣災害関連緊急砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No．4	調査位置	広島県福山市神村町地内（No．−1+0センター）	北緯	34° 27’ 55.1″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成 31年 3月 1日 ～ 31年 3月 7日	東経	133° 17’ 11.5″
調査業者名		管理技術者		照査技術者	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	62.63m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 25°	使用機種	試錐機	東邦DO−DRxS0型	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	11.00m								エンジン	ヤンマーNFD10−MK1型	ポンプ	東邦BG−3C型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	62.13	0.50	0.50		礫質土	暗黄褐灰～暗青灰			φ60mm以下の亜円礫と中砂である。粗砂や細砂とシルトを少量混入する。不均質で含水量が中位である。
	61.63	0.50	1.00						
	61.03	0.60	1.60		玉石	暗青灰			新鮮で硬質な玉石である。
2	60.63	0.40	2.00		砂質土	黄褐灰			中砂でφ10mm以下の亜円礫や粗砂とシルトを少量混入する。不均質で含水量が中位である。
3	59.63	1.00	3.00		玉石	暗青灰			新鮮で硬質な玉石である。
4					シルト混じり砂	淡黄緑灰			中砂でシルトを不規則に混入して不均質で含水量が中位である。
5					強風化花崗岩	暗緑青灰～黄灰			中砂状の強風化土である。砂礫状や粗砂状を呈する所がある。風化して軟質であるが岩の組織が残っている所がある。不均質な風化状況であり、下部は比較的硬質な所がある。
6									
7									
8	54.63	5.00	8.00		風化花崗岩	暗緑青灰～黄灰			中砂状の軟岩Ⅰである。粗砂状や砂礫状を呈する所がある。8.55m～9.00mは黄灰色の棒状コアの軟岩Ⅱである。風化して軟質であるが岩の組織が残っている。不均質な風化状況であり、10.0m付近は比較的軟質である。
9									
10									
11	51.63	3.00	11.00						
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									

孔内水位(m)／測定月日

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	1	4／30	4
1.45					
2.15	1	2	2	5／30	5
2.45					
3.15	3	5	5	13／30	13
3.45					
4.15	4	6	7	17／30	17
4.45					
5.15	8	12	16	36／30	36
5.45					
6.15	9	9	30	48／30	48
6.45					
7.15	10	14	17	41／30	41
7.45					
8.15	28	22／5		50／15	100
8.30					
9.15	50／8			50／8	188
9.23					
10.10	17	25	8／1	50／21	71
10.31					
11.00	50			50／10	150
11.10					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				3／4
				3／5